

福井県立恐竜博物館開館20周年記念企画展  
「福井の恐竜新時代」企画書

## 1 概要

開館20周年を記念して、当館の原点であり、日本の恐竜研究においても重要な福井県の恐竜化石発掘調査に焦点を当て、1982年のワニ化石の発見から現在の組織的な発掘調査へと至る経緯や研究の進展について、化石標本や当時の復元画等で振り返るとともに、最新の研究成果によって解き明かされつつある福井の恐竜たちの新たな姿に迫る。

## 2 開催期間

令和2年7月23日（木・祝）～10月4日（日）（74日間）

休館日 期間中は9月9日（水）、23日（水）

## 3 会場

福井県立恐竜博物館 3階 特別展示室

## 4 展示構成案

### （1）恐竜化石の発見

#### ア 内容

福井県での恐竜化石の発見と発掘調査の経緯と歴史について、1967年のアスワテドリリュウの発見から時系列に沿って紹介する。福井県において恐竜研究がどのように始まり、現在に至るのかについて、化石標本だけでなく当時の記録写真や過去の復元画も展示するとともに、恐竜復元画家の山本匠氏やラウル・マーティン氏による福井の恐竜たちの新作イラストを初公開する。

#### イ 主な展示物

- ・アスワテドリリュウ産状（複製）
- ・北谷層産ワニ類の歯化石
- ・加賀竜 第一標本（手取層群第1号の恐竜化石）
- ・予備調査で発見された獣脚類の歯化石（福井県第1号の恐竜化石）
- ・恐竜時代の福井に関する復元画（初公開）

## (2) 前期白亜紀（約1億2千万年前）の福井

### ア 内容

福井県勝山市北谷町の恐竜化石発掘現場から見つかった恐竜化石を展示し、発見時のエピソード等も含めて紹介する。最新の研究結果に基づいて新たに復元したフクイベナートルやフクイサウルスなどの骨格も公開するとともに、同じ地層から見つかるワニやカメ、哺乳類、魚、昆虫、貝、植物などの多様な化石の展示を通して、北谷層の恐竜たちがどのような環境に暮らしていたのについて紹介する。

### イ 主な展示物

- ・フクイベナートル全身骨格の新復元（初公開）
- ・フクイサウルス頭骨の新復元（初公開）
- ・フクイラプトル全身骨格の新復元（初公開）
- ・フクイティタン前後肢の骨格復元（初公開）
- ・北谷層の恐竜（コシサウルス、オルニトミモサウルス類、ヨロイ竜類など）
- ・復元ジオラマ「前期白亜紀の福井」
- ・フクイサウルスとフクイベナートルのロボット

## (3) 恐竜進化のゆりかご～前期白亜紀のアジア～

### ア 内容

多様な恐竜の化石が発見される前期白亜紀のアジアは「恐竜進化のゆりかご」とも言われている。その代表的な化石産地として、中国遼寧省やタイ東北部の標本を展示し、福井と比較することで、恐竜進化を理解する上で、いかに北谷層の恐竜たちが重要であるかについて紹介する。

### イ 主な展示物

- ・リャオシオルニス産状（複製）
- ・ロンギプテリクス産状（複製）
- ・シャムラプトル骨格（複製）
- ・シリントーナ頭骨（複製）
- ・ラチャシマサウルス下顎（複製）

## (4) 開館記念日に発表した新たな化石の紹介

### ア 内容

今月14日（火・開館記念日）に発表したスピノサウルス科の歯の化石を初めて一般公開する。

イ 展示物

- スピノサウルス科の歯化石（実物）
- スピノサウルス科のスコミムスの全身骨格（複製）